

シグマ研究委員会

昭和56年度 第1回運営委員会議事録

日 時 昭和56年4月17日(金) 13:30～17:00
場 所 原研 東海研 研2棟 322号室
出席者 原田(委員長, 原研), 久武(東工大), 中嶋(法大), 松延(住友原工),
田中, 五十嵐, 菊池(原研)
オブザーバ: 梅沢, 坂本, 松本, 浅見(原研)

配布資料

1. 前回(56.3.20)議事録(案)
2. 55年度旅費使用実績
3. 56年度旅費使用計画(案)
4. 56年度委員の移動
5. 核燃料サイクル核データWG資料
6. 熱中性子文献グループ 56年度計画
7. CINDAグループ 56年度計画
8. WRENDAグループ 55年度報告, 56年度作業計画
9. 22回NEANDC出席報告(五十嵐)
10. Proposal for a Joint Neutron Data Evaluation 他
11. Pearlstein氏より塚田への手紙(写し)

議 事

1. 前回議事録確認

資料(1)により確認を行った。これに関連して原田氏よりmedical核データのad-hoc会合を5月23日に行う旨の報告があった。また, この会合に, 核構造・崩壊データ専門部会からは久武氏が出席することになった。

2. 事務局報告

(1) 55年度旅員使用状況(浅見)

資料(2)により, 53年度, 54年度の使用実績と比較して説明があった。

(2) 56年度旅員使用計画(浅見)

資料(3)により各会合の使用予定案の説明があり了承された。また, 今年度は印刷

費、会議費の1部を割いて旅費を増額させたため、とくに会議費の支出をおさえることになった。

(3) 56年度委員の移動（浅見）

資料(4)により、56年度の新委員、委員交替等の説明があり、これにもとづいて発令手続きを行ったことが報告された。

(4) 学会特別会合会計報告（菊池）

原子力学会特別会合（3月28日）の際の昼食の会計報告があった。

3. 燃料サイクル核データWG報告（梅沢）

資料(5)を用いて、現在すすめているまとめ作業の経過について報告があった。報告書のドラフトが回覧され、報告書はまずJAERI-memoにし、各部門の専門家に検討してもらってからJAERI-Mレポートで公開したいとの説明があった。

4. 56年度作業グループ計画

(1) 熱中性子文献グループ（坂本）

資料(6)により55年度作業の報告及び56年計画の説明があった。56年度では文献集の第7編の出版の準備を行うとの説明があった。

(2) CINDA グループ（田中）

56年度も例年通りの作業を予定しているとの説明があった。（資料7）

(3) WRENDA グループ（五十嵐）

資料(8)により、WRENDA 81/82のための作業結果の報告及び56年度作業計画の説明があった。

5. NEANDC 会合報告

五十嵐氏より、4月6日～10日にフランスのAix-en-Provenceで行われた第22回NEANDC会合について資料(9)を用い報告があった。（詳細は省略）この中で、次々回の会合を日本でやって欲しいとの要請のあったことが報告され、その可否について討議を行った。その結果、日本でやる方向でさらに検討することになった。

6. ヨーロッパ核データ・ライブラリー

五十嵐氏より、前記のNEANDC会合の中で行われたヨーロッパ核データ・ライブラリー（Joint Neutron Data Library）の第2回会合について、資料(10)により説明があり、構造材核種、FP核種、アクチニド核種の各担当者の作業状況等が報告された。

7. 本委員会の準備

本委員会の議題及び期日について検討を行い、期日は6月5日（金）11時よりとし、

議題には次の項目が挙げられた。

- 事務局報告
- 運営委員会報告
- 専門部会報告（医学核データの ad-hoc 会合を含む）
- 国際会合報告（NEANDC, NEACRP, Data Bank, IFRC）
- 大字の科研費による活動（京大炉核データの活動も含む）
- JENDL-3 計画
- JUPITER 計画

なお、次回の運営委で更につめることにし、報告・説明に関係する人には連絡することにした。

8. 81 研究会

本年も恒例の研究会を開催することにした。テーマ等については次回の会合で審議することにし、それまでに各人で検討しておくことにした。

次回は 5 月 22 日（金） 13:30 ～ 原研本部で行う予定。